

議員全員協議会会議録

1 開会日	平成22年2月16日	午後 1時30分 開会	午後 4時12分 閉会	
2 場 所	議員控室			
3 出席議員	山田喜一 鈴木京子 浅輪いつ子 土橋秀雄	山口陽一 百瀬恵美子 竹内恵美子 渡辺順子	清水弘子 奥津勝子 坂田よう子	三澤龍夫 高橋英俊 柴崎 茂
4 説明員	町長 三好正則	鈴木総務課長	相田政策課長 岩本財政課長 齋藤主査	
5 職務のため出席した職員	局長 穂坂 優	書記 岩田隆吉		
6 協議等の事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成21年12月定例会で凍結した補正予算について (2) 視察の受け入れについて (3) 議会報告会について (4) 吉田邸再建について (5) その他 			
7 その他				

(1) 町長あいさつ

あいさつの中で「旧吉田茂邸再建基金の活動状況」、「消防車両の寄贈」、「町長と語り合うつどい」、「湘南地区町村会研修会」、「平成 21 年度神奈川県港湾を考える市町長懇談会」、「大磯港みなとまちづくり協議会主催の講演会」、「説明会（子育て支援総合センター、町立幼稚園統合）」、「湘南地域県民討論交流集会」、「第 64 回市町村対抗かながわ駅伝競走大会」、「大磯運動公園まつり」、「郷土資料館春季企画展」、「町村電算システムの共同化」、「万台こゆるぎの森整備活用事業の変更と開園再開」、「2 件の訴状」に関する最近の町の動きの話があった。

◎主な質疑等

問. 1 町民と町を訴えた訴状の内容は。

答. 西小磯区域内の土地境界のことで町民から訴えられたもので、町民の所有地の裏に細い町道があり公図上は真っすぐ東西になっているが、実際にはクランク状に折れ曲がっていて公図と形状が違うため。

問. 2 月 10 日に国際学園から話しがあつてきょうの報告まで議会への報告が遅いが。また、今後の見通しは。

答. 10 日に町に突然話しがあつた。細かな調整事項があつたため昨日の記者発表となった。昨日、議長にはこのことをお知らせした。大学の通学制事業断念は全体の事業としては大きな変更はないと判断した。通学制断念は現時点での断念であり、条件が整えば将来的にはやりたいという思いはあると聞いている。他の事業は継続して行っていく。公社の土地は 1 年契約だが、買換えをお認めいただいて定期借地権を締結したいと思っている。

問. マリア道の拡幅は国際学園との約束か。

答. 平成 17 年頃からマリア道は町として整備することになっている。契約の条件として町が道路を整備することにはなっていない。

問. 議会への報告前に新聞報道をした理由は。

答. 議長への報告は午後 5 時前後になった可能性はあるかもしれない。議会軽視のつもりはない。タイミング的にそうなってしまっし訳ない。今後、報告するように努力する。

要. 一般質問の回答の際に旧吉田邸再建に対する町の考えをしっかりと述べてもらいたい。

※町長への申し入れ（議会への報告の仕方など）について文書で行うかどうかも含め議長に一任した。

(2) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。
なお、予定に2月20日の姉妹都市役員会を追加した。

(3) 協議事項の結果

ア 平成21年12月定例会で凍結した補正予算について

賛否を取った結果、「プレミアム付商品券の発行」は、経済的に大変な方等への配慮・町内中小商店での活用・経費の節減を条件に実施するように、「大磯運動公園野球場防球ネット等の改修」は凍結のままदैいくように町側に伝えることに決まった。

◎主な意見

- ・凍結された2事業の問題点がまだクリアされていない。議会の意向が反映されていない状況である。凍結は紳士協定だと思っている。
- ・子育ての人たちに優先的に配慮するものがない。申請ではなく必要などところに優先権みたいな形にしないといけない。
- ・可決か否決しかない。凍結ではなく否決すべきだった。補正予算は可決されている。凍結を解く方法を議会が出すしかない。
- ・プレミアム付商品券を期待している町民もいる。凍結を解除するという議会の意思を町側に伝えるべきである。
- ・前回、足が悪い高齢者などが商品券を購入できなかった。また商工会でどのような検証がされたのかなどについて早急に検討するようにいふべきである。
- ・町側の考えをまとめたものを見て措置を考えればいい。
- ・2月4日の総務建設常任委員会協議会が町が説明した場所で、そこで質疑応答はきちんとした。委員長に解凍のやり方について議会運営委員会か議員全員協議会にするかを一任した。
- ・議会運営委員会では議員全員協議会で決めるということになっている。
- ・運動公園は検証不足である。執行停止にして来年度予算でしっかりと検討していくべきである。
- ・野球をやっている人たちがこの防球ネットのことを知らない。もっと真剣に検討すべきである。
- ・安全性の確保の点から凍結を解除すべきである。
- ・防球ネットを設置したからといって安全性は確保できるとは考えられない。硬式のチームは町内に1チームである。そのためにお金をかけるよりは他の方法が考えられる。

- ・平塚学園が取った方法（ベース脇にネットを張る）では公式野球ができない。
- ・行政からうまい提案がなければ再度凍結を求める決議を出して可決するしかない。

イ 視察（議会基本条例）の受け入れについて

議会基本条例に対する視察受け入れの対応方法については、議会運営委員会で審議することになった。

ウ 議会報告会について

昨日開催の区長連絡協議会定例会に出席し議会報告会についての説明をし、開催日等は議会側で決めることを確認した。

議会運営委員会の委員長又は副委員長、議会だより編集委員会の正又は副委員長、予算特別委員長及び正副議長の5人で準備を進めていくことになった。

◎主な意見

- ・十分な準備をして臨む必要がある。
- ・議会だよりで周知していく。予算の説明だと6月議会の前に実施しないと意味合いがなくなる。5月実施に向けて皆でやっていくしかないのではないかと思う。
- ・議運の委員長、議会だよりの正又は副委員長、予算特別委員長、それと正又は副議長のメンバーで準備を進めたらいいと思う。

エ 吉田邸再建について

議会として吉田邸再建についての取り組み方については3月議会終了後に検討していくことになった。

(4) 報告事項

ア 県議長会の研修会に参加して・・・山田議長報告

1月25日に神奈川県自治会館で開催した講演会（成蹊大学名誉教授佐藤竺、あるべき地方自治・議会像をもとめて）の報告があった。

イ 議会運営委員会の報告・・・百瀬委員長報告

2月5日（提出予定議案、陳情の取扱いなど）と2月16日（陳情の取扱い、一般質問の時間割など）に開催した委員会の報告があった。

ウ 市町村議会議員特別セミナー・・・百瀬議員報告

平成22年2月9日と10日に3人（百瀬議員、奥津議員、三澤議員）が受講した市町村職員中央研修所での研修についての報告があった。

エ 委員会報告

(ア) 1月19日福祉文教常任委員会協議会・・・奥津委員長報告

審議した（仮称）子育て支援総合センター、次世代育成支援対策

地域行動計画（素案）、たかとり幼稚園工事進捗などについての報告があった。

(イ) 2月3日福祉文教常任委員会協議会・・・奥津委員長報告
審議した公共施設の条例改正についての報告があった。

(ウ) 2月4日総務建設常任委員会協議会・・・柴崎委員長報告
審議した大磯運動公園施設改修、JR大磯駅前「旧山口勝蔵（ヴァントマリーノ）」、プレミアム商品券などの報告があった。

オ 議員年金について・・・山田議長報告
全国町村議会議長会の地方議会議員年金制度に関する要望活動についての報告があった。

カ 事務局から報告
「山口県光市議会視察」、「平成22年度予算案計上の議場傍聴席の工事」、「政務調査費に関する裁判」、「6月定例会・9月定例会会期日程」についての報告があった。